

問題Ⅳ

問1

1	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
2	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ

問3

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

問4

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

問5

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

問6

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

問7

ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---

問8

ア	イ	ウ	エ	オ
---	---	---	---	---

問題Ⅳ 次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。

日本銀行は日本の中央銀行として、1882年6月に設立され、金本位制度およびその後の管理通貨制度を通して、日本における通貨制度の中心的機関としての役割を担ってきた。その主な機能は、唯一の「発券銀行」としての機能、民間の金融機関に対する「銀行の銀行」としての機能、「政府の銀行」としての機能である。現在、日本銀行における最高意思決定機関は、Aである。Aが決定すべき事項は、金融市場調整の方針、金融政策手段の決定、金融情勢判断から業務運営や内部管理事項まで多岐にわたっている。1996年以降、日本銀行が通常時に用いている主要な金融政策手段は、1である。

バブル崩壊後、日本経済は根本的な回復を経ないまま、構造的な低成長に陥っている。この間、マネーサプライを増大させるため、日本銀行はゼロ金利政策から2にふみだし、さらに、株式や不動産投資信託の買い入れなど、それまで歴史的にも外国でも採用されなかった政策を次々と発動してきた。しかし、日本銀行が行ってきたこのような政策に対しては、その政策的有効性への疑問のみならず、金融市場への弊害の拡大、今後の政策的選択肢の縮小などへの懸念も指摘されている。

日本経済における構造的な低成長は、海外の経済動向とも密接に関係している。近年の主要な動向だけでも、アメリカのリーマン・ショックとその後の経済不況、ヨーロッパの金融危機とその長期化による世界経済への影響、世界経済の主要な成長センターである中国の経済成長の鈍化などの事態が次々と発生し、日本経済に深刻な影響を与えている。日本銀行は中央銀行として、一層難しい舵取りを迫られているといえる。

問1 文中の 1 と 2 にあてはまる最も適切な語句を下記からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア) 基準貸付利率操作

(イ) 公定歩合引き下げ

(ウ) 公定歩合引き上げ

(エ) 公開市場操作

(オ) 売りオペレーション

(カ) 預金準備率操作

(キ) 量的緩和政策

2013-3-7

問2 文中の A にあてはまる最も適切な語句を漢字5文字で答えなさい。

問3 文中の下線部(a)に関して、正しいものを下記から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- (ア) 中央銀行が金を保有しているゆえに、金本位制度と呼ばれる。
- (イ) 現在においても、一部の国々は金本位制度を採用している。
- (ウ) 金本位制度のもとで発行される銀行券は、兌換可能である。
- (エ) 金本位制度は、中心国イギリスの長期不況によって、19世紀後半にほとんど崩壊した。

問4 文中の下線部(b)に関して、正しいものを下記から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- (ア) 管理通貨制度では、通貨発行額は衆議院と参議院における国会審議によって決定される。
- (イ) 管理通貨制度は、第2次世界大戦後に初めて採用された。
- (ウ) 管理通貨制度では、通貨の膨張が生じる可能性はない。
- (エ) 管理通貨制度のもとで発行される銀行券は、不換銀行券である。

問5 文中の下線部(c)に関して、正しいものを下記から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- (ア) 現在、日本銀行は巨額の財政赤字に対応して、政府から赤字国債を買い入れている。
- (イ) 現在、日本銀行は「政府の銀行」としての機能から、国債を発行して得た資金を用いて、公共投資などの公共事業を担っている。
- (ウ) 現在、日本銀行は「銀行の銀行」としての機能から、国債や手形を買い入れている。
- (エ) 中央銀行の最も基本的な役割は、その国の景気を上昇させることである。

問6 文中の下線部(d)に関連して、誤っているものを下記から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- (ア) マネーサプライが多すぎると、インフレーションの危険性が高まる。
- (イ) 日本における通貨の大半は、日本銀行から発行されたものである。
- (ウ) 譲渡性の預金は通貨の一部分を構成する。
- (エ) 当座預金は通貨の一部分を構成する。

問7 文中の下線部(e)に関して、この政策が最初に行われた年として正しいものを下記から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- (ア) 1991年 (イ) 1995年 (ウ) 1999年 (エ) 2004年 (オ) 2008年

問8 文中の下線部(f)に関連して、2012年に行われた政策を下記から1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- (ア) 円高を修正するための円買いドル売りの為替介入
- (イ) 金融市場を調整するためのゼロ金利政策
- (ウ) デフレを解消するための物価上昇率ゼロという目標値の設定
- (エ) 通貨供給量を減らすための預金準備率の引き下げ
- (オ) 金利を引き上げるための基準貸付利率の操作